



ペイス・ジョナサン

マルタ共和国出身
徳島県 / 2023年9月着任

私は徳島県万博推進課で2025年4月13日から10月13日までの半年間開催される「大阪・関西万博」の関西パビリオン内の徳島ブース出展に向けて外国人目線による助言や企画立案をしています。「水とおどる」をテーマに作られるブースの3Dデザイン

Q4 どんな活動をしていますか？

私は徳島県万博推進課で2025年4月13日から10月13日までの半年間開催される「大阪・関西万博」の関西パビリオン内の徳島ブース出展に向けて外国人目線による助言や企画立案をしています。「水とおどる」をテーマに作られるブースの3Dデザイン

Q3 実際に徳島県に移住して暮らしてみたいかですか？

とても魚が美味しいです！魚だけでなく自然が豊かだから食べ物がなんでも美味しいです。今は徳島市内に住んでいます。県南や県西などもっと地方に住み徳島県の自然や文化をより身近に感じたいです。

Q2 なぜ徳島県の地域おこし協力隊になったのですか？

大阪で行われたジェットプログラムキヤリアフェアで徳島県が外国人地域おこし協力隊を募集していることを知りました。募集内容が「大阪・関西万博」の徳島ブース出展に関わることであったので美術大学で学んだことやマルタ共和国で働いた経験が生かせると思に応募しました。

Q1 協力隊になる前は何をしていましたか？

私はマルタ共和国出身で大学はイギリスの美術大学でゲーム美術とデザインを勉強しました。卒業後はマルタ共和国に戻り、ゲーム関係の会社とITの会社でどちらも1年ほど働いていました。日本のゲームやアニメに興味があり19歳の時にバックパックで3週間日本に訪れたことが忘れられず、2017年7月に来日し愛媛県上島町で外国語指導助手を5年間していました。

Q6

これからやっていたいことは何ですか？



藍染を体験するジョナサンさん

Q5

活動中大切にしていることはありますか？



ジョナサンさんが作成した3Dデザイン

やコンセプトアートを一部担当しおり、藍染の色の深さや鮮やかさ、徳島の自然と人が生み出す終わりのない流れ、循環が表現できるように作成しています。ぜひ徳島県民の方に見に来てほしいです。

Best
Photo



ジョナサンさんが徳島県で一番好きな風景(吉野川)

徳島の皆さんは徳島のことを「何も無い」または「阿波踊りしかない」と言う方が多いですが、これまでの質問でも答えたように、素晴らしい自然と文化がたくさんあります。それらを知り知ると、徳島の人は自然の捉え方や、自然から生まれたものをうまく生活に取り入れ上手に暮らしているところに、徳島県の人たちはとてもセンスが良く、いい考え方をしていると感じています。それは今徳島で活躍している職人たちからもわかります。彼らは過去の技術を守りながら、新しい技術を取り入れ新しいものをつくり出している。それらは美しく素晴らしい。だから、「徳島はセンスがある」「いいところがいっぱいある」と特に子供たちに伝えていきたいです。

Q7

徳島県の魅力は何だと思えますか？



阿波踊りをするジョナサンさん

「大阪・関西万博」が終わるまでは全力で徳島県ブースの出展準備、広報に取り組みます。「大阪・関西万博」が終わった後、何をするかは決まっていませんが任期最後まで徳島の良さを私の得意を生かして伝える活動をしたいです。また、卒業後は日本でゲーム開発関係の仕事に就きたいと今は考えており、日本の文化が好きなので日本には住み続けたいと思っています。